

図書館コンシェルジュ

2018（平成30）年度
活動報告書

2019年3月

島根大学附属図書館

図書館コンシェルジュ 2018（平成 30）年度活動状況報告

1 目的

この取組は、学生の図書館利用を学生自身が支援することにより、図書館を学生が学びあう場にするとともに、学生が学生を支援することや図書館の業務の一部を担うことを通してキャリア形成支援の場とするものである。この活動により、図書館利用を活性化させ、学生の学術情報を使う力、いわゆる学術情報リテラシーの育成を支援するとともに、サポートする側に立つ学生のキャリア形成の支援を目的とする。

2 図書館コンシェルジュの活動内容

(1) 正課外での図書館利用サポート

- サービスカウンター（授業時間割に対応した1日5コマに1～2名が担当）
- 図書館ツアー（外部からの図書館見学时など随時）

← 正課 PSP による予算支援

(2) 図書館サービス改善のための自主企画活動

- コンシェルジュの発案による様々な企画の実施
 - eg. （広報チーム）月刊広報誌 LiMe 編集・発行 他
 - （展示・グッズチーム）ブックコンパス、松江市立図書館からの団体貸出 他
 - （イベントチーム）オープンキャンパス企画、ラーコモカフェ、Twitter 他

(3) 外部イベントへの参加（学生協働交流シンポジウム／しまね大交流会）

3 学年・所属

学年別内訳

学年	人数
1年生	5
2年生	11
3年生	5
4年生	4
合計	25

所属別内訳

所属	人数
法文学部	12
生物資源科学部	8
教育学部	1
総合理工学部	4
合計	25

4 図書館利用サポートの実施状況

(1) 活動時間割

授業時間帯	活動時間帯	月	火	水	木	金
1・2限	8:30-10:00		-	-	-	-
3・4限	10:15-11:45	○	○	○	○	○
昼休み	11:45-12:45	○	○	○	○	○
5・6限	12:45-14:15	○	○	○	○	○
7・8限	14:30-16:00	○	○	○	○	○
9・10限	16:15-17:45	○	○	○	○	○
		-	-	-	-	-

※○のついている1コマに原則として1名配置

(2) 利用統計

- 2018年度図書館利用サポート集計（資料1）

5 2018 年度予算執行状況

○2018 年度予算執行状況 (資料 2)

6 2018 年度活動における特筆事項

以下の表に赤字で示した通り、2018 年度は「留学生と日本語で話すコツ講習会」、「チームビルディングのための合宿研修」、「ビジュアルデザイン基礎講座」、「ファシリテーション研修会」といった研修を初めて行った。これらの研修は、2017 年度の最終活動報告書で学生が「今後行ってほしい研修」として挙げたものである。実際の参加者数は少なかったものの、参加した学生からは好意的な評価を得た。(資料 3「図書館コンシェルジュ 活動状況に関するアンケート調査 (2018 年度)」を参照) 来年度同様の研修を行うか否かは、学生からの要望を踏まえて検討する。

4 月	5	前期利用サポート開始 (継続者のみ)
	11	コンシェルジュミーティング (新規参加希望者見学)、 新学期企画「クロスワード」開始 、春装飾開始、ただ日
	17	不昧公 200 年祭企画展示開始
	18	コンシェルジュミーティング、ブックカバー (春) 設置、ただ日、ブックコンパス「新生活/植物」展示開始
	25	コンシェルジュミーティング、ただ日、LiMe ボード開始
	28	不昧公 200 年祭お茶会
5 月	2	定例ミーティング (オリエンテーション)、ただ日
	9	コンシェルジュミーティング、ただ日
	16	留学生と日本語で話すコツ講習会 、ひとたなボックス展示開始、ただ日
	23	コンシェルジュミーティング、ただ日
	25	プロジェクト S 企画書提出
	30	定例ミーティング、ただ日
6 月	6	七夕装飾開始、ブックカバー (夏) 設置、コンシェルジュミーティング、ただ日
	9-10	チームビルディングのための合宿研修 (サンレイク)
	13	コンシェルジュミーティング、ただ日、ブックコンパス「夏/表紙が青い本」展示開始
	14-21	職員によるレファレンス研修 (レベル II)
	20	コンシェルジュミーティング、 第 1 回ビジュアルデザイン基礎講座 、ただ日
	27	定例ミーティング、第 8 回ラーコモカフェ「地方ローカル線は今…～木次線の魅力と今後～」、 第 2 回ビジュアルデザイン基礎講座 、ただ日
7 月	2	プロジェクト S 支援経費使用開始
	4	コンシェルジュミーティング、ただ日
	5	松江市立図書館団体貸出「冒険/本屋大賞」展示・貸出開始
	11	コンシェルジュミーティング、ただ日
	18	コンシェルジュミーティング、夏装飾開始
	30	利用サポート見直し検討会
8 月	3	前期活動報告会
	4-5	オープンキャンパス企画 (スタンプラリー/ビブリオバトル) 季刊誌 LiMe (夏号) 発行・配布
9 月	6-7	第 8 回大学図書館学生協働交流シンポジウム開催 (会場: 広島大学)
	28	ファシリテーション研修会 (大学生協と共催)

10月	3	コンシェルジュミーティング、ハロウィン装飾開始、ブックカバー（ハロウィン）設置
	10	定例ミーティング
	12	松江市立図書館団体貸出「芸術／虫」展示・貸出開始
	17	コンシェルジュミーティング、ただ日
	24	コンシェルジュミーティング、第1回学生リーダーによる利用サポート研修、プロジェクトS中間報告、ただ日
	31	コンシェルジュミーティング、第2回学生リーダーによる利用サポート研修、ただ日
11月	3-4	プロジェクトS「ABD」の方法を学ぶ合宿研修（サンレイク）
	7	コンシェルジュミーティング、第3回学生リーダーによる利用サポート研修、読書の木開始、ただ日
	14	コンシェルジュミーティング、ただ日
	15-16	職員によるレファレンス研修（レベルI）
	17	プロジェクトS「ABD」本番
	21	コンシェルジュミーティング、図書館ツアー研修、ただ日
	28	定例ミーティング、第9回ラーコモカフェ「行くとわかる！ホントの海外って？」、冬装飾開始、ただ日
12月	5	コンシェルジュミーティング、ただ日
	12	コンシェルジュミーティング、ただ日
	13	松江市立図書館団体貸出「英語の本（多読キャンペーンに関連して）／教科書に載っていた懐かしい本」展示・貸出開始
	15	しまね大交流会
	19	定例ミーティング、ただ日
1月	9	コンシェルジュミーティング、第10回ラーコモカフェ「障がい者支援はなぜ必要なのか」
	16	コンシェルジュミーティング
	18	季刊誌LiMe（冬号）発行
	23	コンシェルジュミーティング
2月	7	最終活動報告会、企画の棚卸
	8	「学生協働交流シンポジウムがどうしたら楽しく実り多いものになるか？」座談会

※2018年3月15日に2018年度図書館コンシェルジュ募集開始。

※赤字で示したものは、2010年からのコンシェルジュ活動の中で、2018年度に初めて行った取り組み。

図書館利用サポート統計(3年間の比較)

2016年度

年間集計							2 10:15-11:45				昼休み 11:45-12:45				3 12:45-14:15				4 14:30-16:00				5 16:15-17:15				月合計
月	活動可能日数	A)活動可能コマ数	B)活動したコマ数	実施率(B/A)	C)質問件数	コマ当たり質問件数(C/B)	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	
4月	16	64	0	0.0%	0	0.0								0				0								0	0
5月	19	76	59	77.6%	54	0.9					0	8	1	9	7	15	2	24	0	8	2	10	2	8	1	11	54
6月	22	88	68	77.3%	41	0.6					2	6	2	10	1	7	5	13	0	8	3	11	1	4	2	7	41
7月	20	80	64	80.0%	46	0.7					0	6	5	11	0	11	3	14	0	5	1	6	1	11	3	15	46
8月	8	32	13	40.6%	14	1.1					0	1	2	3	1	5	0	6	0	1	2	3	0	2	0	2	14
10月	20	80	9	11.3%	6	0.7					0	1	0	1	2	1	0	3	0	0	0	0	0	1	1	2	6
11月	20	80	63	78.8%	98	1.6					0	20	5	25	3	17	8	28	3	27	9	39	0	6	0	6	98
12月	16	64	46	71.9%	55	1.2					0	4	2	6	2	10	6	18	5	17	6	28	0	1	2	3	55
1月	18	72	53	73.6%	91	1.7					1	11	7	19	8	21	8	37	2	23	5	30	0	2	3	5	91
2月	8	32	19	59.4%	23	1.2					0	4	2	6	1	6	3	10	0	4	1	5	1	1	0	2	23
合計	167	668	394	59.0%	428	1.1	0	0	0	0	3	61	26	90	25	93	35	153	10	93	29	132	5	36	12	53	428

A)活動可能コマ数は、シフトの登録がされているか否かにかかわらず、利用サポートに入ることができるコマとする。

※4月は利用サポート活動を行っていない。

※前期の利用サポート開始日は5月9日、後期の利用サポート開始日は10月20日。また、10月は継続者のみの変則シフト。

2017年度

年間集計							2 10:15-11:45				昼休み 11:45-12:45				3 12:45-14:15				4 14:30-16:00				5 16:15-17:15				月合計
月	活動可能日数	A)活動可能コマ数	B)活動したコマ数	実施率(B/A)	C)質問件数	コマ当たり質問件数(C/B)	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	
4月	17	68	25	36.8%	30	1.2				0	0	4	2	6	0	5	1	6	0	15	2	17	0	1	0	1	30
5月	20	80	44	55.0%	50	1.1				0	0	11	0	11	0	6	1	7	1	20	2	23	1	8	0	9	50
6月	22	88	51	58.0%	39	0.8				0	0	3	4	7	0	3	0	3	1	18	2	21	1	6	1	8	39
7月	28	112	46	41.1%	25	0.5				0	0	4	0	4	0	1	1	2	2	8	5	15	0	3	1	4	25
8月	7	28	12	42.9%	4	0.3				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	0	0	0	0	4
10月	21	84	8	9.5%	8	1.0				0	1	3	2	6	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
11月	20	80	16	20.0%	45	2.8	1	1	2	4	0	9	1	10	4	8	6	18	2	3	1	6	2	5	0	7	45
12月	16	80	57	71.3%	41	0.7	1	6	1	8	0	2	2	4	1	8	3	12	2	7	3	12	0	3	2	5	41
1月	18	90	67	74.4%	69	1.0	5	11	1	17	3	7	4	14	1	8	3	12	2	9	4	15	0	10	1	11	69
2月	7	35	1	2.9%	3	3.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	3
合計	176	745	327	43.9%	314	1.0	7	18	4	29	4	43	15	62	6	40	16	62	10	82	21	113	4	39	5	48	314

A)活動可能コマ数は、シフトの登録がされているか否かにかかわらず、利用サポートに入ることができるコマとする。

※4月～11月は継続者のみの利用サポート活動。通常は後期から新規利用サポート学生も活動を行うが、今年度は希望者(1回生も含む)が多く研修が遅れた。

※前期の利用サポート開始日は4月17日、後期の利用サポート開始日は10月10日。また、10月は継続者のみの変則シフト。

※11月27日より新規利用サポート学生も活動を行い、2コマ目からの活動を行った。

2018年度

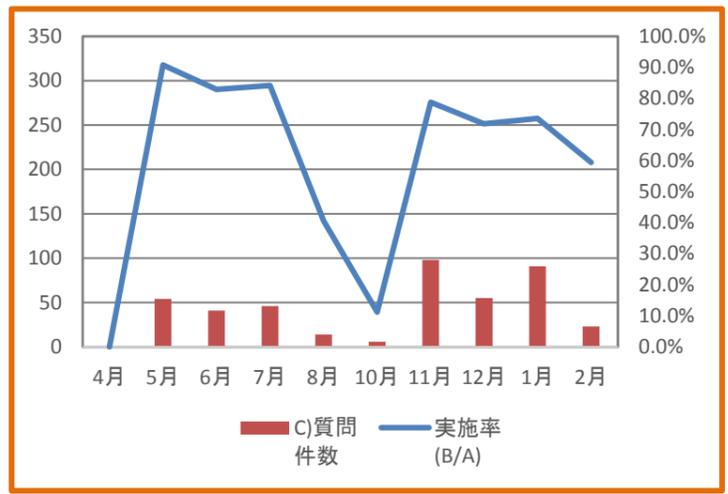
年間集計							2 10:15-11:45				昼休み 11:45-12:45				3 12:45-14:15				4 14:30-16:00				5 16:15-17:15				月合計
月	活動可能日数	A)活動可能コマ数	B)活動したコマ数	実施率(B/A)	C)質問件数	コマ当たり質問件数(C/B)	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	教職員	学生	学外者	小計	
4月	6	30	25	83.3%	43	1.7	1	8	0	9	2	4	2	8	1	4	1	6	1	12	6	19	0	1	0	1	43
5月	21	105	81	77.1%	101	1.2	1	20	4	25	1	14	3	18	2	9	2	13	3	15	9	27	1	12	4	17	100
6月	21	105	77	73.3%	64	0.8	2	6	1	9	1	14	0	15	3	6	1	10	0	13	2	15	0	10	5	15	64
7月	21	105	52	49.5%	34	0.7	0	6	6	12	0	1	1	2	0	2	4	6	0	8	3	11	0	1	2	3	34
8月	8	40	1	2.5%	1	1.0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10月	13	65	35	53.8%	49	1.4	0	7	1	8	0	6	1	7	3	11	0	14	0	11	3	14	1	4	1	6	49
11月	21	105	70	66.7%	52	0.7	0	4	5	9	1	5	0	6	1	6	3	10	3	10	2	15	3	9	0	12	52
12月	17	85	58	68.2%	29	0.5	0	2	2	4	0	1	2	3	0	6	1	7	0	9	2	11	0	4	0	4	29
1月	18	90	45	50.0%	29	0.6	1	8	1	10	0	0	2	2	0	7	1	8	0	5	2	7	1	1	0	2	29
2月	4	20	3	15.0%	1	0.3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	150	750	447	59.6%	403	0.9	5	62	20	87	5	46	11	62	10	51	13	74	7	83	29	119	6	42	12	60	402

A)活動可能コマ数は、シフトの登録がされているか否かにかかわらず、利用サポートに入ることができるコマとする。

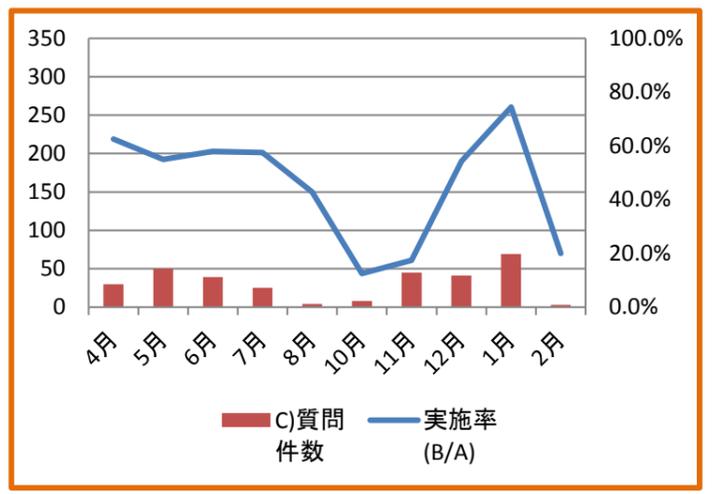
※前期の利用サポート開始日は4月20日、後期の利用サポート開始日は10月15日。また、10月15日～11月22日は継続者のみの変則シフト。

図書館利用サポート統計(3年間の比較)

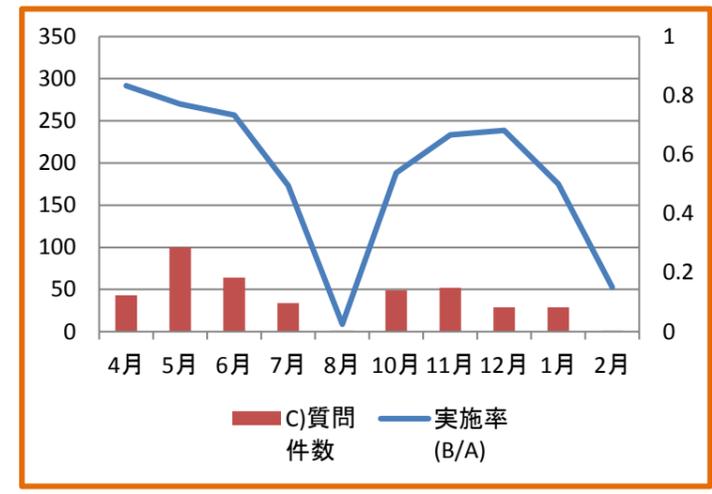
2016年度



2017年度

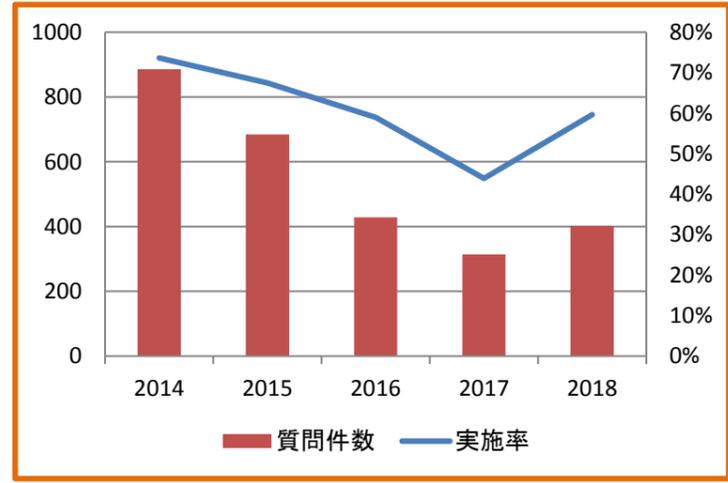


2018年度



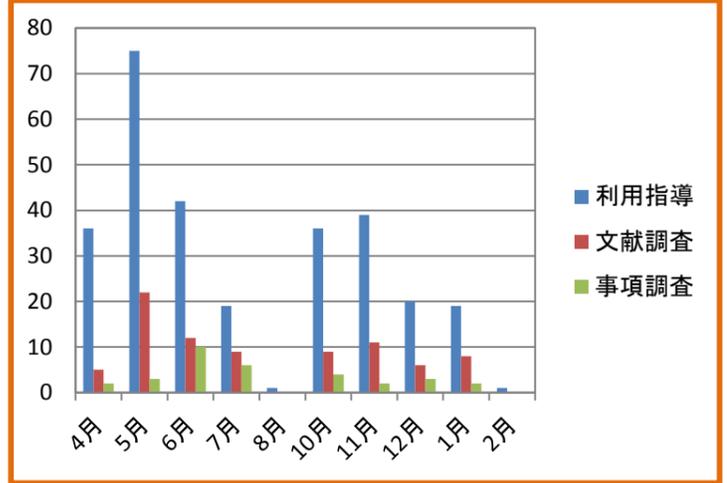
図書館利用サポート利用統計(5年間の推移)

2014~2018の推移

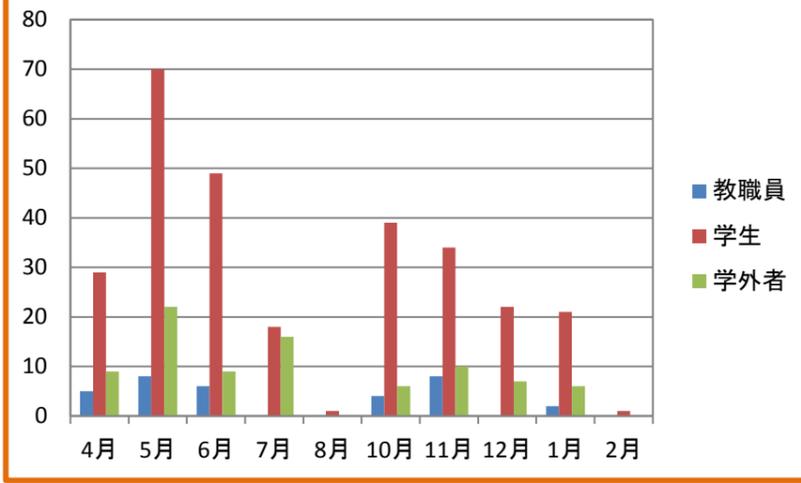


2018年度 質問種別/利用対象者別の件数

(1) 質問種別毎の件数



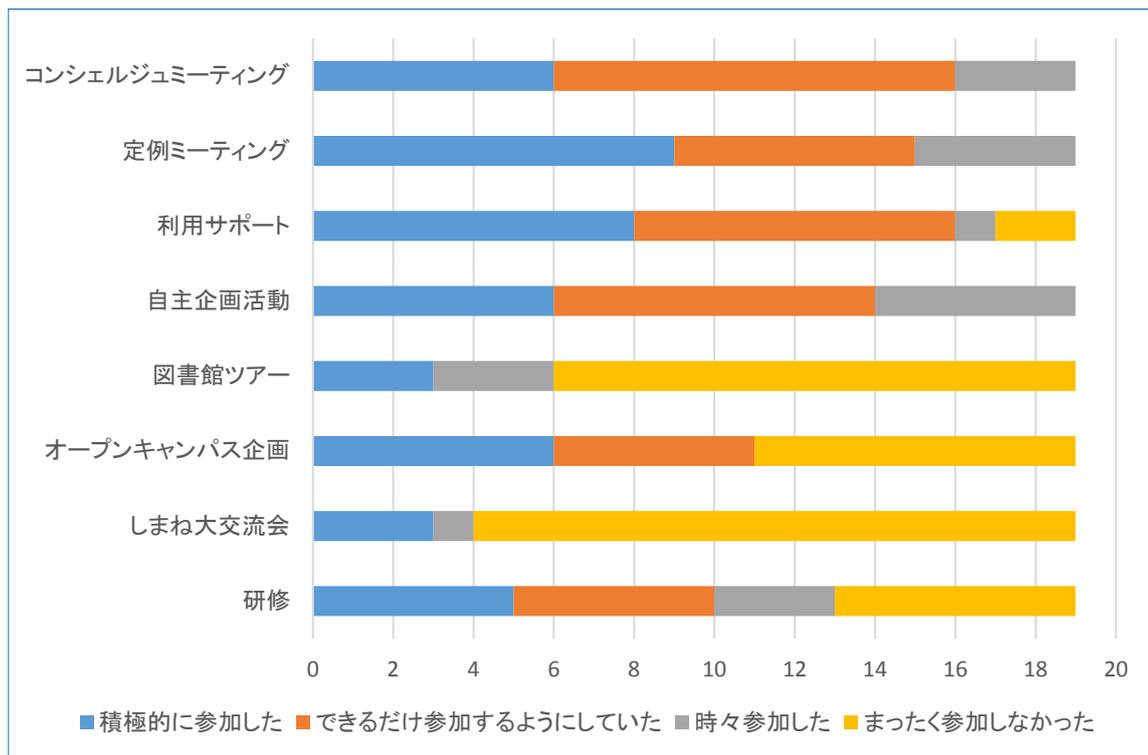
(2) 利用対象者別の件数



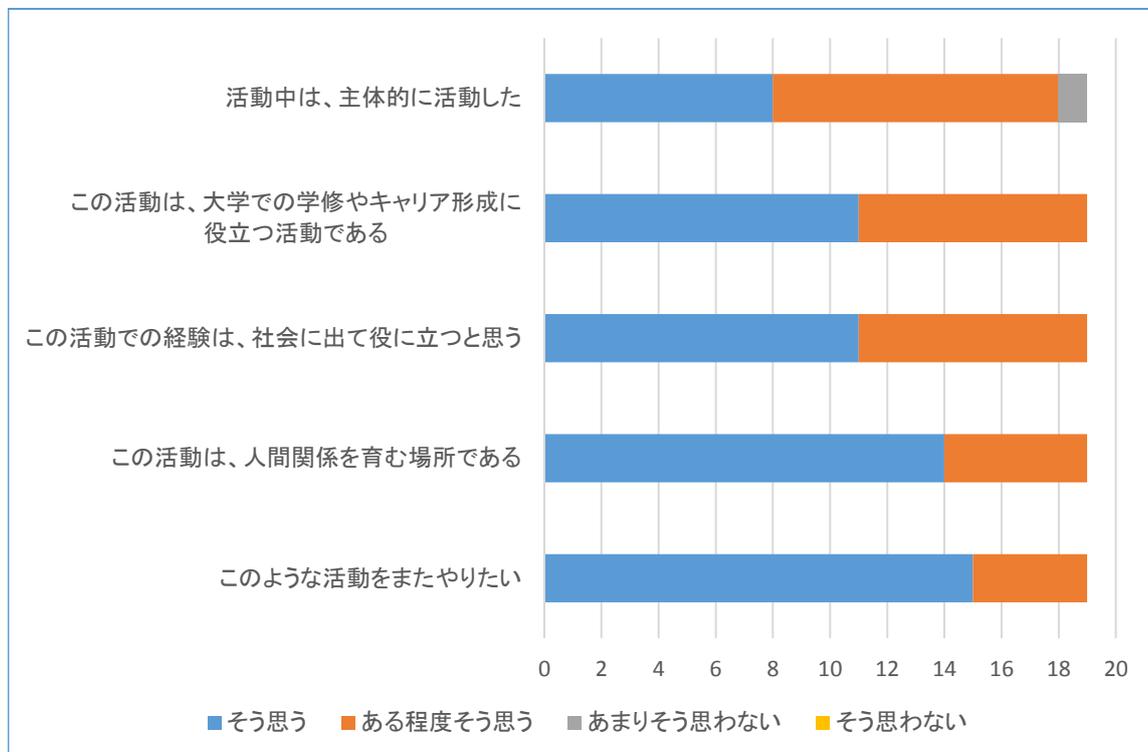
- * 利用指導 図書館の各種利用方法等の指導
 (例) ・書庫の利用の仕方は? ・工学分野の図書はどこにあるか?
 ・自動貸出装置の使い方が分からない・OPAC、データベースの検索の仕方が分からない
- * 文献調査 文献の所蔵・所在等についての調査
 (例) ・この図書は図書館にありますか ・〇〇という論文を探している
 ・〇〇についての文献(図書・論文)を探している
- * 事項調査 事実や事柄についての調査
 (例) ・〇〇について知りたい

図書館コンシェルジュ 活動状況に関するアンケート調査(2018年度)

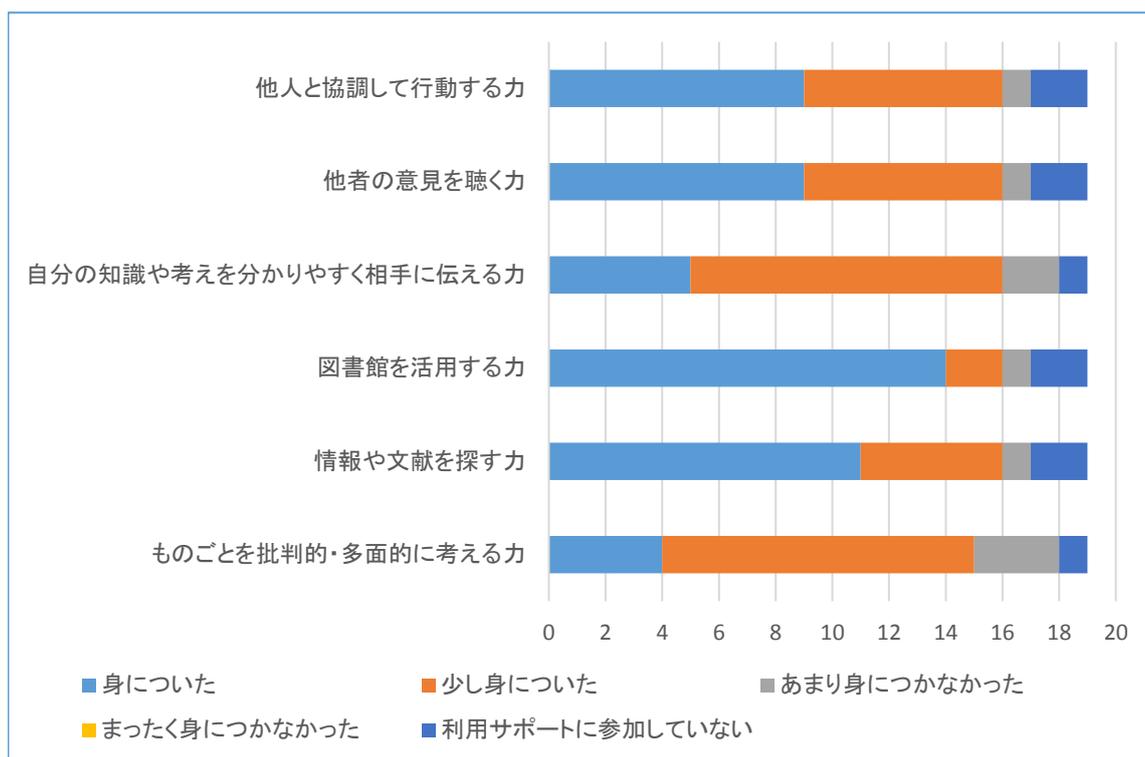
1 あなたは、以下のコンシェルジュ活動について、どの程度関わりましたか。



2 あなたは、この1年間に図書館コンシェルジュの活動を行った経験の中で、以下の項目についてどの程度あてはまると感じますか。



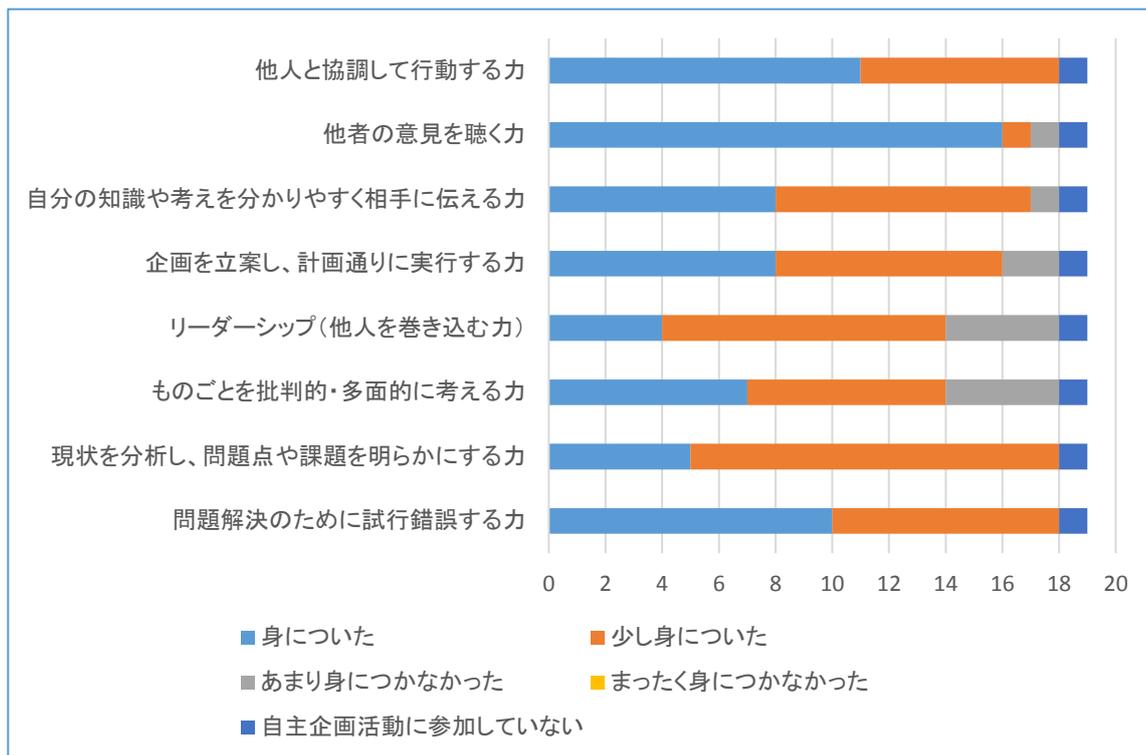
3 利用サポート活動を通して、どのような力が身についたと思いますか。



4 利用サポート活動全般についての課題・問題点をお書きください

特になし
私の問題ですが、応用的な質問に臨機応変に対応出来ず職員さんに頼ってしまう
・マナーを守っていない人への注意の仕方が悪かったのが反省です。 ・もっと先輩の様にちゃんとした対応をとれる様に努力しなければならないと思いました。
業務をどこまでやっていいかが、もっと明確に分かるとやりやすいと感じた。職員さんをお願いする業務が、リストなどで一目で分かると良いと思った。
問題点といいますか、とっさの対応がうまくいかず、職員さんに対応していただくことが多いので、もっと精進したいです。
留学生への対応に困ることがしばしば。ある程度、英語で返せるように会話リストのようなものが常備してあると心強いかもしれない…？
外部の方が来られた際の対応が不十分だった点。
論文検索のレファレンス(特に外国語)が来た時のに、少し考える時間が必要なところ
特にないです。
利用サポートを無断で休んでしまった
週1回ではなかなか覚えられず慣れない

5 自主企画活動を通して、どのような力が身についたと思いますか。



6 あなたが中心となって企画した自主企画活動についてお尋ねします。

企画名	その企画を行ったことで、図書館の利用者やコンシェルジュの活動に対してどのような効果があったと考えられますか	企画を通して学んだ点・成長したと思う点をお書きください
オープンキャンパス企画	利用者に対しては島大図書館がどのような所か知ってもらうことができたのではないかと。 コンシェルジュは自分達の活動拠点である図書館をどのようにして伝えるかの練習になったと思う	図書館、つまるところ自分達のアピールをどうしたら上手くできるか考えることができたのではないかと
館内装飾	気軽に利用できるようになった	計画の重要性、あらゆる視点から考えること
	季節やイベントに合わせた装飾で、利用者に楽しんでもらえたと考えられる。 利用者が季節や親しみやすさを感じられる効果があった。	全体のバランスを考えたり、計画的に取り組むことを学んだ。 無理のない予定をどう組むかを学んだ。人に作業をお願いする時などにどう説明すれば良いか考える機会が多く、伝え方について成長したと思う。
季刊誌LiMe夏号	広報活動のひとつとして、図書館やコンシェルジュのことを伝えられたのではないかと考えております。	以前は割りと担当者の役割が重かったのですが、今年は皆が積極的に手伝ってくれました。なので、「あ、LiMe担当者の負担って減らすことが可能なのだなあ」と知らされました。3年目にして。

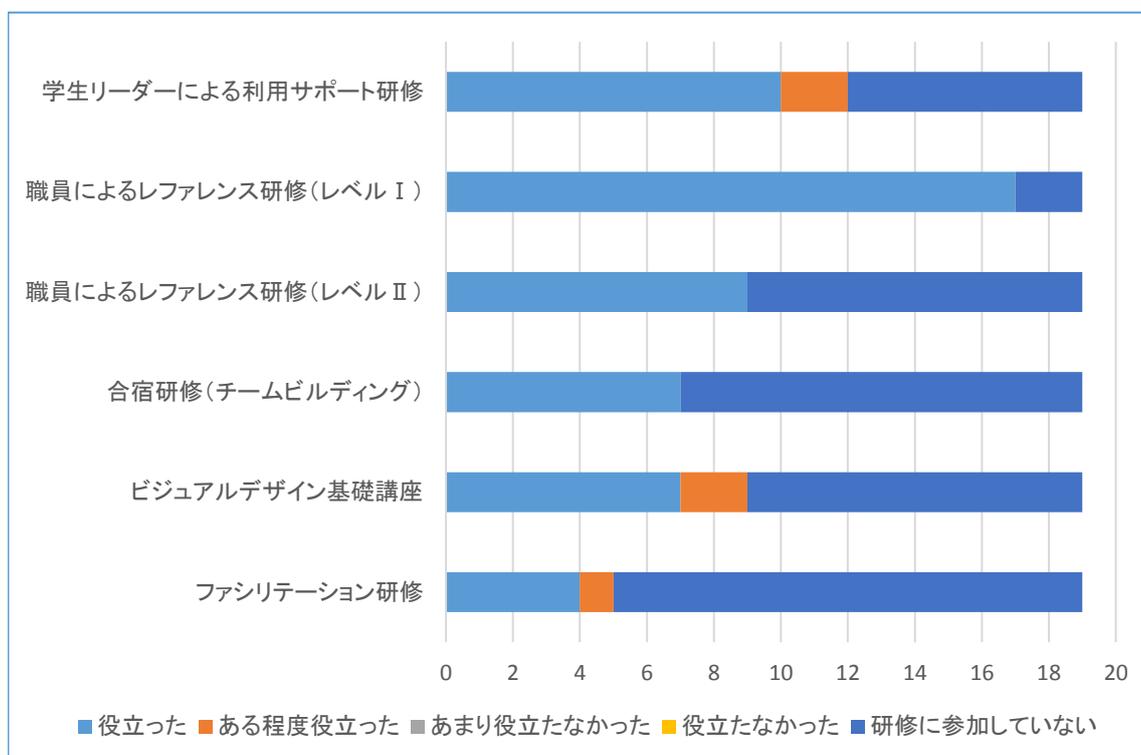
コンシェルジュTwitter	館内企画の広報や、諸連絡、コンシェルジュの活動をお知らせすることができた。読んだ本紹介はコンシェルジュのメンバーについて知ってもらおうという意図で始めたが、この紹介文のために読んだ本と真剣に向き合う機会ができて良かったと個人的に思っている。	読んだ本の紹介は紹介文をメンバーの方々にお願いするので、どうしても多くの人に書いてもらえるか少し悩んだりしたが、一人一人との関わり方や紹介文の頼み方が協力を得るのに必要だと分かった。広報活動としてはいくら企画の前になってTwitterで広報しても参加者数は増加しづらいので普段からの知り合いや先生などを通して広報をする方が効率が良いのだと分かった。
ただ日本語で話すだけ	個人で利用するイメージがある図書館に交流の場を設けられる。	場を円滑に進めるためにどうするかを考える力が身についたと思います。
	留学生と日本人との交流の場を作れたこと	日本の常識が世界で通用するわけではないこと。コミュニケーションの取り方。英語力
読書の木	好きな本を発信したり、またそれを共有したりと、利用者同士の交流につながったのではないかと考えられる。また、読書の推進にもつながったのではないかと思う。	利用者参加型の企画という点から、より気軽に参加してもらえるものという思いで新しい企画を作り上げることができた。また、企画に対していただいた意見を随時適応させてながら理想の企画にすることができたと思う。また、企画書の作成等について、他企画との兼ね合いを考えながらスケジュールを調節したので、計画性も向上したと思われる。
ひとつたなブックス	利用者に対して、授業に関連する本を提供できた。	物事を順序よくすすめる力。
ブックカバー	時期ごとに違うブックカバーがあると利用者にとって本を借りる時の楽しみの一つになるのではないかと思います。	企画について相談したり話し合ったりして協力しようと心がけました。
	図書館の利用促進	デザイン力、貰った意見をどのように反映させるかを考える力
ブックコンパス	利用者の方がより多様な本に興味を持った。	頻繁に本を入れ替えるため、計画を立てて行動する力が身についた。
	コンシェルジュがオススメする本を利用者に紹介することで図書館の利用を促すとともに所蔵している本を紹介することができた。	企画を練る力
松江市立図書館 団体貸出	利用者の方のニーズに応えられたこと	コンシェルジュと協力、頼ること
ライブレター	利用者が疑問に思っていることや、要望など意見としてただけてコンシェルジュ、職員さんからの返信をすることでより良い大学図書館としてのサービスを提供できた。	利用者には色々な思いの方がいることが分かった。図書館として返信をすることもあったので大きな責任を感じながら返信することもあり、失礼がないようにするのは少し大変だった。目安箱を設置した後は投書が短期間に続くと返信が大変で一人で抱えてしまうと大変な企画であると思った。職員さんの協力があって成り立っています。

LiMeボード	図書館で行われている内容を分かりやすく伝える効果。内容把握に役立つ効果。	レイアウトやデザインを考える力が向上した点。相手に内容を端的に伝えるための文章を作る技術が向上した点。
ラーコモカフェ	学内外の方にそのテーマについて考えて貰える機会や新たな知識を得るの場を作れたこと。	打ち合わせを行うこと。
	島大内でどのような活動が行われているの、また自分の知らない知識を吸収する事ができる	いかに参加している人が設定しているテーマに興味を持てるか、また楽しめるかを考える力が少しはついたのではないかと思う
ABD		日程調整、人数を集めることの難しさ

7 自主企画活動全般についての課題・問題点、その他気づいた点や感想をお書きください

発信していくことは以前より増えたと思う
利用者の方のニーズに応える為にどうすれば良いのかを常に考えなければならないなと思いました
広報チームは予定通りに進まないことが多いので、そこを直していきたいです。あと、情報共有を徹底し
今年度は比較的全体のまとまりがあった年ではないかと思う。結束力が高まっている反面、普段参加できていないコンシェルジュとの温度差が拡大しつつあるのではないかという点を懸念している。来年度は、ミーティングに参加できない人も企画に何らかの形で関わることができるように対策をしたい。
決まった人に仕事が行き過ぎ、負担になっている点。

8 あなたが参加した研修について役に立ったかどうか、4段階で評価してください。



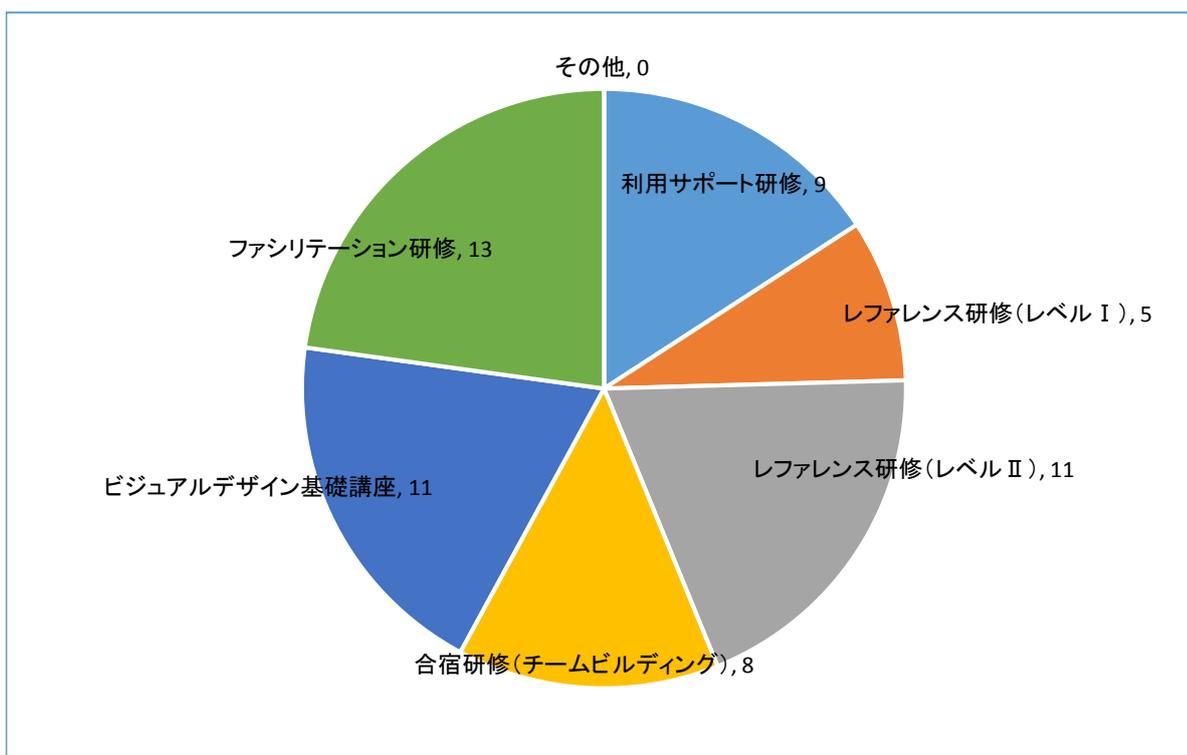
9 あなたが受けた研修についてお尋ねします。

9-1 研修でどのようなことが身に付きましたか
対応力
図書館の利用方法。
パワーポイントの図形の結合方法を覚えた。パワーポイントを楽するためのテクニックがあることを知った。
利用サポートに入る際の知識
司会力
分かりやすく人に伝える力
美しい体裁とはなんぞや?が分かった気がします。
○レファレンス研修→レファレンスにおける基礎知識の再確認。
○合宿研修→コンシェルジュの今後を見据える力。
○ビジュアルデザイン基礎講座→より見やすいポスターやパワポ資料の作成を心がけるように。
○ファシリテーション研修会→円滑にミーティングを進めたり、話し合いの際により意見を引き出せるように。
昨年からやっていた利用サポートはより利用者の方が求めているものに答えられるようになったと思う。ファシリテーション研修ははじめて見聞きしたものだが、会議などの進行に役に立っている実感がある
一つのことについて深く考察する力。
チームとして活動する意味を再確認でき、その後チーム活動を円滑に行う事ができるようになったのではない
荒川先生がABD研修の際に頻りに仰った傾聴の方法について学ぶことができました。
利用サポートの覚えなければならないこと。opacの活用法。
パワーポイントの活用法と見やすいデザインの考え方。

9-2 研修の成果をコンシェルジュの活動にどのように生かしていますか
カウンター業務のときの対応
実際に企画で展示する本を決める際に、多様な分野から選ぶようになった。
最終報告会の時のスライドに研修で学んだことを盛り込むように心がけている。
研修で教えてもらった対応の仕方などを実際に利用サポートの時に使ったり、心がけたりできました。
ファシリテーションで学んだことを、ラーコモカフェやただ日などの司会をする場面で生かしていきたいなと思いました
広報誌を作る際に役立てております。
ミーティングの進行はもちろん、報告会等で使用するポスターやパワポ資料の作成、利用サポートにおけるレファレンス対応、自主企画活動での企画の進捗把握等、幅広く生かされている。
ミーティングの進行、ブックカバーのデザインなど
企画をどうすればより良いものにできるか、チーム全体で話し合うようにする。
チーム全体で行う企画やイベントを随時行い、チームとしての活動を増やすことで成果を確認する事ができるのではない
企画活動などで人の意見をしっかり聞くように心がけています。またその意見に対しても、否定をするのではなく、肯定をして意見を述べることを心がけています。
利用サポート活動とポスターやプレゼンテーションの作成に生かしている。

9-3 研修の成果を大学の授業や正課外の活動にどのように生かしていますか
必要な本を探すのが得意になった。
グループワークなどで役割を考えて行動をするようになった。パワーポイントの調整をするのが少し得意になった。
話し合いの時とかに生かしていきたいなと思いました
人に説明するとき、どのように伝えたら分かりやすいか考えるようにしている。
発表資料などを作るときに意識するようになりました。
ビジュアルデザイン基礎講座での学びは大きく、授業内での発表やレジュメ・パワポ資料作成時に「より読みやすく、わかりやすく」を意識して作るようになり、好評を得るようになった。また、人前での発表に関してもアウトラインをきっちり考えるようになったり、グループワーク中のファシリテーターを引き受けるなどしている。
見やすい、わかりやすいパワーポイントの制作やグループワークの円滑な進行
諦めずに、最後まで取り組むようにする。あらゆる視点から考察してみるようにする。
グループ活動をする際に、他人の意見を傾聴して自分の意見を述べるようにしています。
質問の仕方考えるようになった。

10 来年度も開催されるなら、参加したいと思う研修を選んでください(複数回答可)



11 コンシェルジュの活動全体に対して、課題・問題点、その他気づいた点や感想などをお書き

コンシェルジュ間の連絡がなかなか取れないことがあったこと
メンバーが忙しくてコンシェルジュが主催する企画に参加することができない状態が多い。イベントチームの活動できる人員の減少が著しい。やはりリーダーの負担が大きい。アイスブレイクなどを取り入れて、仲良い団体を目指したことでコンシェルジュの雰囲気が変わって、今の私にとっては少しやりづらい雰囲気になった。 今年は、学生生活に変化があったりでコンシェルジュに熱意をあまり持てなくなっている。コンシェルジュの活動に参加することに対して疑問を抱くようになってしまった。
ミーティング資料についてをメールしてくださるので、細かく確認ができて助かります。
ミーティングに参加できる方とできない方の差があるのが問題だと思います。参加出来ない方でも何か企画に参加出来るようなシステムにすべきだと思いました
最近学科の方が忙しくなってきて、あまり積極的に参加できず申し訳ないです。でも楽しく学べるのでなるべく参加したいと思います。
今年は研修を多数行い、コンシェルジュ全体で活気あふれる年になったと感じる。また、各企画の引継書を作成できたこと、企画検討会を開催することになったのは大きな成果だと思う。 今後もそれぞれの年のカラーを出しつつ良い企画ができると良いなと思う。
いろんなイベントを行いました。やっぱり広報をもっといろんな面からやってみていいのではないかなと思います。
ミーティングに参加できていない人への対応について
特にありません。
企画内での情報共有が甘い。moodleでは今年度分の資料しか見ることができないのが不便。

図書館コンシェルジュ 2019 (平成 31) 年度必要経費 (案)

2019 (平成 31) 年度は、次のとおり 2 コマ目～4 コマ目の時間帯に対して、必要な経費をお願いしたい。

(1) 活動時間帯

	活動時間帯		
	1・2 限	8:30～10:10	-
3・4 限	10:25～12:05	100 分	
昼休み	12:05～13:00	55 分	
5・6 限	13:00～14:40	100 分	
7・8 限	14:55～16:35	100 分	
9・10 限	16:50～18:30	-	

※各コマに1名配置する。 ※355分 (6時間) /1日

(2) 必要経費

(要求内訳)

区 分	時間	単価	金額	備考
謝金	(h)	(円)	(円)	
6時間/日 ×5日/週 ×28週	840	900	756,000	
合 計			756,000	

自主企画活動報告

読書の木

展示・グッズチーム
2年 立石彩夏

目次

1. 企画の目的
2. 企画の内容
3. 企画の成果
4. 反省点
5. 次回に向けて

1 企画の目的

利用者の交流・参加型の企画を目指す

利用者の読書推進を図る

2 企画の内容

期間 30年11月7日～31年1月9日

場所 図書館1階展示ウォール
(途中から2階展示ウォールへ)

対象 利用者全般

内容 利用者に好きな本のタイトルとコメントを葉に
書いて貼ってもらい、1つの木を作っていくもの



2 企画の内容

葉っぱ
計 33枚



予想よりも多くの利用者が参加

2 企画の内容

本の展示希望

11冊



所蔵があった本

4冊



2 企画の内容

展示期間
30年11月21日～
31年1月9日

展示した本

『星の王子さま』 サン=テグジュペリ著・内藤濯訳	貸出回数 4回
『阪急電車』 有川浩著	貸出回数 1回
『自由からの逃走』 エーリッヒ・フロム著・日高六郎訳	貸出回数 1回
『白夜行』 東野圭吾著	貸出回数 0回

3 企画の成果

自分の好きな本について発信する
他の利用者の好きな本を借りる



利用者が好きな本を紹介し合う場に

4 反省点

広報に力を入れられなかった

企画開始時にTwitterでの告知1回
企画開始後にLiMeボードでの紹介1回



企画開始後も重ねて広報



参加者が増えるのでは

5 次回に向けて

次回の展示内容

期間 4月上旬～5月中旬

テーマ 「春」

ジャンル 問わない



広報を毎週水曜日に

ラーコモカフェ 報告

発表：長廻圭祐・田中絵梨

アウトライン

- | | |
|---------|----------|
| 1、概要・目的 | 3、第10回報告 |
| 2、第9回報告 | 4、今後の予定 |

概要・目的

概要：学内から様々な人呼び、話をさせていただいたり活動を行ったりする

- 目的：①利用者の成長の機会とする
②コンシェルジュの学内交流の幅を広げる

第9回報告（概要）

実施日時：11月28日(水)
14:45~15:45

タイトル：行くとわかる！
ホントの海外って？

ゲストスピーカー：岡村泰成（法文2）
鳥山藍（法文2）

第9回ラーコモカフェ
ホントの海外って？
～海外経験者が語る！
実際の海外はどんな感じなのか？～

ゲストスピーカー
・岡村泰成さん(法文・2年・中国)
・鳥山藍さん(法文・2年・アメリカ)

日時：11月28日(水)14:45～15:45
場所：島根大学附属図書館2階
ラーニング commons2
内容：学生の海外経験の話とグループワーク

主催：コンシェルジュ部
TEL: 0852-211-1111
URL: http://www.riku.ac.jp/

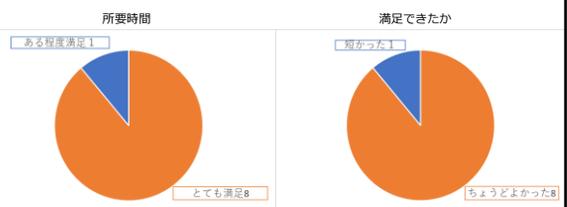
第9回報告（参加人数）

一般学生：1名
LC：4名
職員：1名
一般利用者：1名

計9名



第9回報告（アンケート結果①）



第9回報告（アンケート結果②）

○今後の要望

- ・次あればまた聞きたい
- ・学長さん又は館長さんの話も聞いてみたい
- ・世界の言語で学ぶことの楽しさ
- ・TEDX Shimaneの運営をされている方の話を聞きたい
- ・今回のような海外の話イベント
- ・就職関係の話

○その他の意見

- ・グループワークの中で他の人の話も聞いて良かった

第9回報告（振り返り①）

○今回の企画内容について

- ①前回の反省を踏まえて（対象を学生にするか一般の方も含めるか）
→学生の体験をメインに
- ②グループトークの導入
→学生だけでなく一般の方も参加しやすく
- ③ラーニングコモンズ2での実施
→グループトークを行うため、聞き取りやすい環境で
またラーニングコモンズ1だと周りの目が合って話しにくい？

第9回報告（振り返り②）

○改善点

- ①その後に繋がりにくい時期設定
→後期の留学関係の締切りが2日後の11月30日だった
⇒もっと早く開催しておくべきだった
- ②やはりコンシェルジュ以外の学生が少ない
→各種掲示板や友人への宣伝は行ったが…
⇒当日における広報も重要か（館内放送後1名の学生が来た）
→館内放送以外にも何かないか模索すべき

第10回ラーコモカフェ 「障がい者支援は なぜ必要なのか」

野崎明彦教授
(障がい学生支援室)

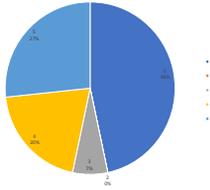
- ・ 時間：1/9（水） 14：45～16：00
- ・ 場所：1Fラーニングコモンズ
- ・ 対象：学生
- ・ 参加人数：20名
(途中入退場合む)

当日の様子



アンケート結果

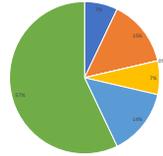
参加者の所属



1. 島大生→47%
 2. 他大生→0%
 3. 一般利用者→7%
 4. 職員→20%
 5. その他→27%
- 島大生が多い。
 (コンシェルジュが主)
 ●コンシェルジュ以外の島大生や一般の方の参加者を増やすことが課題

アンケート結果

今回のラフォーテカフェを知った理由



1. 館内ポスター→7%
 2. 学内ポスター→15%
 3. 電光掲示板→0%
 4. Twitter→7%
 5. 図書館ホームページ→14%
 6. その他→57%
- その他はコンシェルジュが多かった。また、職員の方はメールで知られた方が多かった。

アンケート結果

満足度



1. 大変満足できない→0%
 2. やや満足できない→7%
 3. 何とも言えない→7%
 4. やや満足できた→22%
 5. 大変満足できた→64%
- 全体的に満足度が高い
 ●満足できなかった方が数名いらっしやるので、次回行方時には改善していきたい。

アンケート結果（意見） ※一部抜粋

- 大学の先生が行われているような研究の話をもっと聞きたい
- 違う学部の先生をお招きして何かテーマを設定して話す
- 読書会を行ってほしい
- メールマガジンを配信して欲しい

アンケート結果（意見） ※一部抜粋

- 今回のような話を一般の方向けにもっと行って欲しい
- 先生のお勧めの本の紹介が良かった
- 討論の時間が短い

今後の展望

- 4/17 (水) 15:00~16:30
「コンシェルジュって知ってる? ~コンシェルジュの話聞いてみよう!~」を実施予定
- 第12回目以降は、学部の先生などをお招きして、何かお話しして頂けるような内容を多く設定する。

ご清聴ありがとうございました

ABD

～アクティブ・ブック・ダイアログ～

担当: 田中

目次

- 企画の概要
- 企画の流れ
- 反省点
- 今後について

企画の概要

- 15名前後の参加者を想定
- ABDを行う事により、読書して生まれた疑問や感想などを話し合う事で深い学びができる。
- 集中力、要約力、プレゼン力などの複数のスキルを同時に磨く事ができ、個人の多面的成長に繋がる。
- コミュニティの場の形成する。
- 普段読書に馴染みの無い方にも、読書をするキッカケの場を作る。

企画の流れ

日時、当日使用する本を決める

↓

ポスター作製、告知、本の購入、参加者申込受付

↓

当日

12:00～12:30 受付開始

12:30～17:00 ABD

反省点

- 広報が足りなかった
→ Twitterやポスターなどをもっと活用する
- 日程が成人式などと重なった
→ 多くの方が参加しやすいような日時を考える

今後について

- 2月中旬までにポスター作製、告知(Twitter、ポスター、ホームページなど)、参加者申込を開始する
- 4月25日(木)に参加者申込を締め切る
【最低5名集まったら開催する】
- 4月27日(土)にABDを行う
- 今後において学期ごとに1回は最低でも行いたい。

ご清聴ありがとうございました

ただ日本語で話すだけ

担当 桑田・田中

▶企画概要

日本語を学んでもらうために、留学生と日本人ができるだけ日本語で交流する。

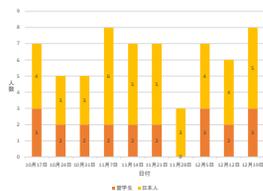
▶活動日時

10/17～12/19 毎週水曜日 12:00～12:30

▶活動場所

ラーニングコモンズ2

参加人数



問題点

- ▶日本人の話すスピードや方言
- ▶伝わらなかった言葉の伝え方
- ▶話手の偏り

改善するために・・・

- ▶参加する日本人の方に話すスピードや標準語を使うように気を付けてもらおう！
- ▶日本語をより易しいものに変換する能力をつけよう！
また英語力を向上させよう！

ご清聴ありがとうございました

コンシェルジュ Twitter



島根大学図書館コンシェルジュ
@shimat_con
[島根大学図書館コンシェルジュ]
島大生の図書館好き、本好きな人
が集まって活動をしています！
活動紹介等を行うアカウントに
なります。
気軽にフォローしてください！

担当者 林

企画目的

- ・イベント、企画活動の広報
- ・その他コンシェルジュからの情報発信
- ・コンシェルジュ新参加者の勧誘

企画内容

- ・各企画担当者が企画の広報、展示の報告などで利用
- ・コンシェルジュとしての活動
(4コマの時間、研修活動)を報告
- ・その他コンシェルジュからの情報発信
- ・2017/10/18より<コンシェルジュが読んだ本>紹介

<コンシェルジュが読んだ本>

	タイトル	著者	紹介者
10月3日	絶滅の人類史	更科功	林
10月10日	風の中のマリア	百田尚樹	林
10月17日	函と館	細萱久美	長廻
10月24日	理科系の読書術	鎌田浩毅	田中
10月31日	シェア	加藤秀行	林
11月7日	鴨川ホルモー	万城目学	梶原
11月14日	私の命はあなたの命より軽い	近藤史恵	桑田
11月21日	もものかんづめ	さくら ももこ	田中
11月28日	君の話	三秋 純	横山
12月5日	旅のラゴス	筒井康隆	半田
12月12日	星をさがす本	林完次	藤田
12月20日	世界から猫がきえたなら	河村元気	山本帆乃佳
1月2日	僕と先輩のマジカル・ライフ	はやみねかおる	藤山
1月9日	告白	湊かなえ	山本京佑
1月16日	新しい高校生物の教科書	栃内新、左巻健男	田中
1月23日	ミッドナイト・ホモサピエンス	渥美鏡児	林

<コンシェルジュが読んだ本>

(1/24の時点での順位)

インプレッション：ユーザーがツイートを見た数

	タイトル	紹介者	インプレッション
1位	理科系の読書術	田中	8401
2位	新しい高校生物の教科書	田中	2055
3位	風の中のマリア	林	1214
4位	函と館	長廻	1134
5位	シェア	林	912



改善点

- まだ出来ていない引用リツイートをして、より他大学との交流をしたい
- <読んだ本>のリストを作り共有して、他の企画と絡めたりしたい



企画目的

- 図書館利用者にコンシェルジュへの意見を募る
- 図書館利用者との交流の場とする
- 現行の企画の改善を図る



企画内容

- 図書館入り口付近に目安箱を設置し図書館利用者に意見を募る
- いただいた意見にコンシェルジュからの返信する
- 意見にあった、企画、イベント等の実現に向け活動する

成果

- 8/27 「市民パスポート会員だと小学生でも図書館を利用できるのか」
- 10/7 「『女チャリダー ふれあい日本一周ひとり旅』を蔵書にしてください」
- 10/8 「小学生でも書庫に入りたい」
- 10/27 「閉館の音楽の音量が大きくないですか」

成果

- 11/6 「空調の温度差が激しいです」
- 11/15 「英語多読対象作品、消毒液、ゴミ箱を増やして欲しい」
- 11/28 「読書の木、いい企画ですね」
- 1/16 「あらすじのない本には本の帯を貼り付けて欲しいです」

反省

- 昨年の反省を生かして、今期は意見をいただいてから1週間ほどで返信をすることができて良かった
- カウンターに質問していただければいいような内容の意見も来るようになった



広報誌LiMe

担当：広報チーム

目的

利用者の方に、
 ・コンシェルジュの活動を知ってもらう
 ・本や図書館、コンシェルジュに関心を持ってもらう

きっかけのひとつになること

今期LiMe目標

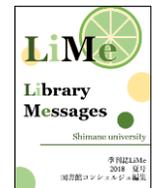
- 作業の効率化
- 成果の目に見える化
- 情報共有

表紙・裏表紙の テンプレート作成

〈夏号〉

〈冬号〉

〈サンプル〉



成果（夏号）

発刊部数 50部

配布部数 44部
 （共同シンポジウム20部
 島根大交流会15部）

情報の共有について

- 実際にしようとした対策
LINEを利用して情報共有
- 試行結果
うまく機能せず
- 今後
こまめに情報共有
OneDriveの活用

今後の目標

- 情報共有の効率化
- 館内での配布部数の増加

ご清聴
ありがとうございました。

図書館コンセルジュ最終報告会

作成者：山本帆乃佳

LiMeボードについて

目的：利用者の方々に図書館で行われるイベントや図書に関する**情報の提供**を行う。

最新のLiMeボード



《記載内容》

- ・ 研究個室予約制のお知らせ
- ・ ただ次回予告
- ・ 図書館コンセルジュ募集のお知らせ
- ・ 英語多読強化キャンペーン
- ・ ライブラリー
- ・ コンセルジュtwitter



《記載内容》

- ・ 次回ラーコモカフェのお知らせ
- ・ 読書の木の来年度春 開催予告
- ・ 季刊誌LiMe
- ・ 英語多読強化キャンペーン
- ・ お年玉チャレンジ

結果

- ▶ チーム内で協力 → 情報の更新が徹底
- ▶ 職員さんとの連携 → 新情報の提示がスピーディーに！
- ▶ 企画内容の把握 → イベントや企画の内容、実施期間の確認が可能

前回反省点の改善

- △ イベント終了後も、そのイベントに関する記述を消さずに残したままであることが多かった。
 - コンセルジュの活動時間内にチェック出来るだけ早く新情報を掲載
- △ 新情報をすぐに掲載することができなかった。
 - 職員さんへ確認
- △ 裏面の情報は見てもらえているか。
 - 表裏を入れ替え、裏面の情報も見やすいように工夫

今後について

LiMeボード = 「利用者」 向けの情報提供を行う媒体

課題：利用者のニーズに答えられるような情報提供をしていくこと
LiMe各種が多くの人々の目に触れられるような工夫
図書館のイベント告知の掲示方法 ← より明瞭に！

ご清聴ありがとうございました



ブック★コンパス

企画者
小田 美岬 小野 誠志朗

企画について

- 内容: コンシェルジュがテーマに沿った本を展示・紹介する。本にはポップをつけ、興味を持ってもらいやすくする。
- 場所: 1階カウンター前本棚
- 目的: 来館者に、普段読む本とは違う本に興味を持ってもらう。本の貸し出しを促進する。
- 対象: 来館者

展示の様子



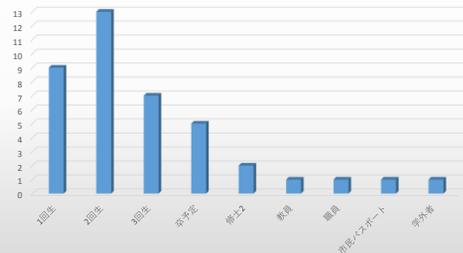
前期のテーマ

- 新生活と植物
- 夏、表紙が青い本
- 現在、「戦争と平和」を展示しています。

新生活と植物

- 展示冊数: 40冊
- 期間: 4月18日(水) ~ 6月13日(水)

新生活と植物



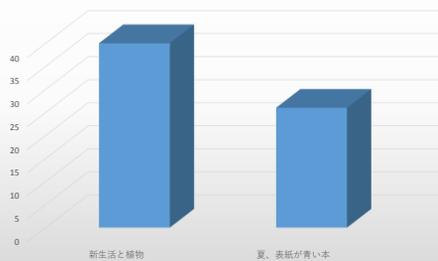
夏、表紙が青い本

- 展示冊数: 24 冊
- 期間: 6月13日(水) ~ 7月いっぱい

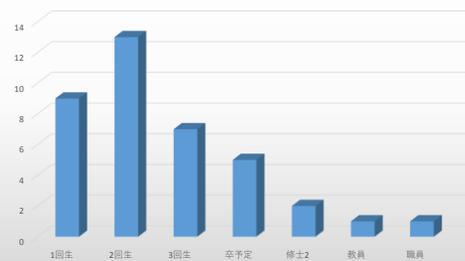
夏、表紙が青い本



貸出回数(比較)



貸出回数(学年・区分で比較)



これからの課題・ひとこと

- 学生の興味・関心の深いテーマにする
 - テーマのマンネリ化を避ける。
 - 装飾・ポスターにも手を加える。
 - 定期的な入れ替えを行い、展示のない期間を作らないようにする。
- 前期では3コマに授業が入っていたため、ミーティングに参加できなかったが、後期は水曜日全体なので積極的に参加したい。

館内装飾 後期

担当：平山・武岡

目的

季節感のある装飾をすることで気軽に図書館に足を運んでもらい利用促進へ繋げる

期間

ハロウィン 10/03~10/31

冬 11/28~01/23

ハロウィン

10/03~10/31



冬 11/28~01/23



良かった点

- ・昨年度の飾りを使うことで後期開始直後に飾りつけができた
- ・2F吹抜けに装飾をした

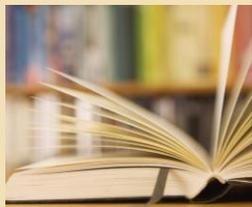
反省点・改善すべき点

- ・新しく作った飾りのラミネートを省いた結果期間中に一部が破れてしまった
- ・場所を増やすと飾り付けに時間がかかってしまった

松江市立図書館 団体貸出

1回生

田中・武岡・富永・斎藤・山本京



目次

- ・企画の概要
- ・企画の流れ
- ・第二回目団体貸出
 - テーマ、企画の様子、統計、
- ・第三回目団体貸出
 - テーマ、企画の様子、統計
- ・良かった点
- ・反省点

企画の概要

・松江市立図書館の蔵書を借り受け、島根大学附属図書館の利用者に提供する。

コンシェルジュと職員が共同して行うが、借りる図書館のテーマの設定、選書作業、展示、片付けはコンシェルジュが中心となっていく。

- ・貸出期間：2カ月
※ただし貸出中の図書につき、予約が入った場合は1カ月で返却
- ・貸出冊数：1回あたり約100冊
- ・担当：田中、武岡、富永、斎藤、山本京

企画の流れ

- ①図書館コンシェルジュメンバーからテーマを選出
- ↓
- ②担当者でテーマを決定
- ↓
- ③松江市立図書館で選書
- ↓
- ④島根大学附属図書館で展示

第二回目団体貸出

テーマ

「芸術」 & 「虫」



展示の様子



第二回目団体貸出

利用者区分

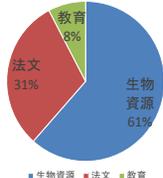


■ 学生(1回生) ■ 学生(2回生)
■ 学生(3回生) ■ 学生(卒予定)
■ 職員

・1回生の利用が特に少なかった
→広報不足?

第二回目団体貸出

学部区分



■ 生物資源 ■ 法文 ■ 教育

・生物資源の学生から多く借りられた
→「虫」というテーマだったから?

・総合理工、人間科学部の学生から利用されていない
→テーマが学部で学んでいる内容からかけ離れているため?

第三回目団体貸出

テーマ

「英語の本」
(多読対象作品に含める)
&
「教科書に載っていた懐かしいと思う本」

松江市立図書館団体貸出

今回のテーマは・・・

英語多読キャンペーンの対象となります!

「英語の本」
「教科書に載っていた懐かしい本」

展示期間：12月13日(木)～2月6日(水)
このコーナーの本は、貸出期間が1週間です

図書館
コーナー
無料

展示の様子



第三回目団体貸出

利用者区分



- ・三回生、四回生から利用されていない
→卒論や研究室などで忙しい?
- ・全体的に冊数が少なく利用されていない
→広報不足?
→興味を持たなかった?
→テストやレポートなどで忙しい?

第三回目団体貸出

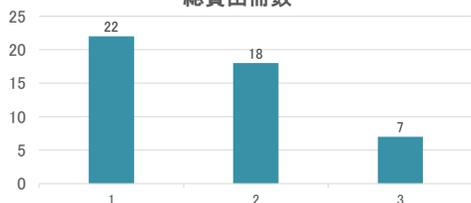
学部区分



- ・教育学部から利用されていない
→興味を持たなかった?

今年度の貸出統計

総貸出冊数



良かった点

- 図書館の本のバリエーションが増えたこと
- 後期で2回団体貸出を行えたこと

反省点

- 図書館利用者の意見をあまり取り入れる事が出来なかったこと
- コンシェルジュ内での連携が上手くできておらず、仕事の分担が出来ていなかったこと
- 貸出冊数が減少している事

今後の予定

- 4月10日(水)をめぐりに2019年度第1回目団体貸出を行う予定

ブックカバー制作

担当：鳥山、富永

活動趣旨

- ①図書館の利用促進
- ②図書、または利用者のプライバシーの保護



秋ver

A4：50枚、B5：60枚を配布

オレンジや黄色などの温かみのある色合いに



冬ver①

B5サイズ、60枚配布

デザインは富永さんにお願ひしました



冬ver②

A4サイズ、70枚を配布

冬の夜をイメージしてデザイン



良かった点など

- 秋冬ともに多くの利用者の方に手に取ってもらえた
- 季節をテーマ別にしたため長期間の配布が可能に
- 冬は二人でそれぞれデザインしたが、毛色が違うものになった



反省点など

もし今後アナログでデザインしたいというコンシェルジュがいた場合
どのように対処するか（印刷方法など）



今後の予定

春・夏のブックカバーを制作
そのほかデザインの仕事などがあったら承ります



自主企画活動外の報告

地域とつながる ～本を通じた縁結びプロジェクト～

展示・グッズチーム
2年 立石彩夏

目次

1. 企画の目的
2. 企画の概要
3. ABD研修
4. ABD会
5. まとめ
6. 今後の展望

1. 企画の目的

地域の方と本を通じた交流

コンシェルジュ活動の活性化

新しいことがしたい！
本をどう使って人をつなぐ？

誰と交流する？

↓
ABDをしよう！！
(アクティブブックダイアログ)

ABD(アクティブブックダイアログ) とは？

どんな人でも短時間で読みたい本を読むことができる新しい読書の手法

- ① 1冊の本を分担して読んでまとめる
- ② 発表・共有化する
- ③ 対話で気づきを深める

↓
能動的な気づきや学び
新たな関係性の構築

ABD研修

ABD会

2. 企画の概要

ABD研修

- *日時 平成30年11月3日(土)~4日(日)
- *場所 島根県立青少年の家 (サン・レイク)
- *対象 図書館コンシェルジュ4名
島根県立大学短期学部松江キャンパス 学生図書委員7名
- *講師 荒川 長巳先生 (島根大学名誉教授)
- *目的 ABDの手法を学ぶ

2. 企画の概要

ABD会

- *日時 平成30年11月17日(土)
- *場所 島根大学附属図書館ラーニングcommons1
- *対象 図書館コンシェルジュ5名
島根県立大学短期学部松江キャンパス 学生図書委員4名
一般の方4名
- *目的 地域の方とABDで交流する

3. ABD研修

1日目

コ・サマライズの
練習中

使用した本は
菅野仁『友だち幻想』



3. ABD研修

要約を共有し、みんなで
1冊の本を読む

発表タイムは2分厳守



3. ABD研修

ABDのポイントは
この「ダイアログ」

みんなの問いを深掘り



能動的な気づき・学び



3. ABD研修

2日目

ファシリテーターを
2名選出



2グループそれぞれが
実施

使用した本は J.D.クランボルツ/A.S.レヴィン著
『その幸運は偶然ではないんです!』



3. ABD研修

アンケートの結果...

- * 参加者全員が
「ABD研修に参加してよかった[とてもよかった]」
と答えた
- * 県大の方から
「楽しかった」「自分たちも主催したい」
との声が

4. ABD会

総勢13名、3グループ

各テーブルで、

- * 一般の方
- * 県大の方
- * コンシェルジュ

が交流できるように配置



4. ABD会

使用した本は
岸見一郎/古賀史健『嫌われる勇気』



4. ABD会

今回のダイアログでは
さまざまな立場からの
意見が...



4. ABD会

アンケートの結果...

- * 参加者全員が
「参加してよかった」
と回答
- * 初めて参加した方にも満足
していただけました
- * 「期待していた以上の内容」
との声も



5. まとめ

地域の方と本を通じて交流できた

コンシェルジュにとって良い刺激が得られた

想像以上に参加者の満足度が高かった

6. 今後の展望

地域の方との交流を継続的にする



例

ABDを広める

読み聞かせ

高校生や他大学との交流企画